

八幡平後生掛温泉 山スキー報告

【日程】2018年1月6日（土）～8日（月）

【メンバー】ちば山の会 CL 薄井 SL 菊池 吉川 鶴田 滝本
福島登高会 4名

1日目：6日 記録：薄井

【コース】コース入口（後生掛温泉看板前）14:55～ベコ谷地手前～コース入口 16:00

【天候】雪

東北道を鹿角八幡平 IC で降り、鹿角市内で自炊用の買い出しと昼食をすませて後生掛温泉に到着したのは、午後2時を回っていた。

大場沼へのショートツアーのため駐車場奥の雪(2m以上あった)へ上がろうと作業をしていると、温泉のスタッフの方が出てきてガイドなしでの立ち入りは禁止されているとのこと。以前はそのようなことはなかったと思うが仕方がない。代わりに8日に予定しているベコ谷地経由で楯森まで登るルートの入り口を確認しに行くことにした。

温泉から少し下がったアスピーテラインが通行止めとなる地点からいったん沢に降り、橋を渡って尾根にとりつく。ゆるゆると高度を上げながら40分ほど歩き、ベコ谷地の手前までで今日は終了とした。降り続く雪は軽く、緩斜面でもよく滑った。入口がわかりにくいので、明後日に備えて登高会のIさんが尾根の入口に赤リボンをつける。

八幡平はゆったりとなだらかな山容をしており、滑りというより歩きが主体のスキーになる。後生掛温泉は地熱による全館暖房で、内部では真冬でもTシャツ1枚で過ごせるほど。この温泉を含めた山全体のしっとりとした雰囲気が心地よく、毎年でも来たくなる。厳冬期だから天気は最初から期待していない。温泉を満喫したら大部屋で自炊のきりたんぼ鍋をいただき、暖かい床にせんべい布団を敷いて就寝した。



2日目：1月7日（日） 記録：鶴田

【コース】秋田八幡平スキー場～八幡平山頂（藤助森手前まで）

【天候】曇り時々小雪

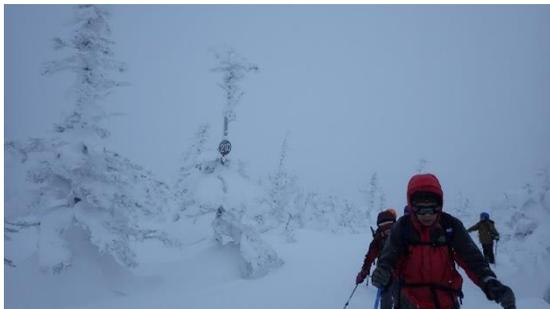
【山行タイム】後生掛温泉（970m）8:20～秋田八幡平スキー場トップ 9:00～蒸ノ湯休憩所 9:25～

田代沼 11:20～藤助森直下 (1,590m) 12:00～往路經由～スキー場下 14:20

八幡平は憧れの地でした。初日のショートツアーで雪のすばらしさとふくよかに雪をまとった樹木の落ち着いたたたずまいを充分に感じていました。八幡平スキー場トップまでリフトのお世話になる。上越のスキー場のような喧騒はなく地元の子どもたちのスキー競技会が静かに始まっている。シールをつけて緩斜面を登りだす。すぐに左手谷間に蒸ノ湯温泉がひっそりと雪に埋もれている。この時期は無人だが湯けむりと温泉のにおいは心休まる。



蒸ノ湯休憩所を経て八幡平へ続く尾根にかかる。尾根というよりゆるい傾斜の広い雪原を行くと言ったほうがいい。ラッセルを交替しながらうねりの少ない場所を選びながら樹氷の間に行くのはとても楽しい。視界はあまり効かないが福島登高会のみなさんがしっかり方向を確認してくれるので安心だ。ときどき樹木の高みにツアーコースの標識が現れる。雪原のうねり、雪をまとった樹木の輪郭などすべてがまるやかでおおらかだ。これが八幡平なのか。



少し風も出てきたので、八幡平頂上はまたの日ということで藤助森直下あたりで引き返すことにした。姿を見失わない範囲で皆思い思いのコースを滑る。といっても私は殆ど登りのトレースをたどった。こんなにゆったりした気分で滑ったのは久しぶりだ。青空と明るい陽光を思い浮かべることもあったが高曇りの静かな雰囲気も何とも言えない。往路すこし苦労した2M

以上の雪の壁を先行したみなさんがスコップで階段を作ってくれていたのがうれしかった。そしてまた今晚あの伸びやかな湯に浸かれると思うと足取りも軽くなる。

福島登高会のみなさん、薄井さんほかちば山のみなさんありがとうございました。

3日目：8日（月） 記録：滝本

【コース】後生掛温泉～柵森

【天候】晴天

【山行タイム】後生掛温泉 (970m) 7:50、ベコ谷地 (1,070m) 8:40、休憩 (1,170m) 9:10、柵森山頂 (1,360m) 10:10～10:20、ベコ谷地 (1,070m) 10:45、登山口 (後生掛温泉 970m) 11:30

最終日は夜から翌日にかけて低気圧が集まって爆弾低気圧になると予報にあったが、前日に比べて午前中は気温が上がって風が弱くなるとのことで期待していました。6時前に起きて温泉に入ろうと外に出ると夜空に半月がくっきりと浮かび上がって期待がさらに高まってきました。

7時から朝食をとって荷物を車に積み込み、温泉宿からシールを付けて出発しました。ルートは一昨日に確認済みで、目印を付けた個所から橋を2か所わたって進んでいきます。薄く雲が出てきたが、かなり明るいので一昨日歩いたルートがうっすらと浮かび上がって快適に高度を上げていきます。しかし途中から見えづらくなって少し北寄りにそれてしまい、南寄りにルートを修正しました。



一昨日のルートに戻って少し進んでブナ林を抜けた所で真っ白で真っ平らな雪原が出現しました。太陽が出ていて平地の表面がきらきら光っていてとても言葉では言い表せない景色です。



とてもiphoneのカメラではわからないと思います。しばらくはこの入り口付近で写真タイムとなりました。美しさに見とれている間に福島登高会の0さんが力強く一直線にトレースを付けていき、それに並行してUさんもトレースを付けていきます。後のメンバーはトレースをたくさん付けるのもためらったのか、この2つのトレースにのって進んでいきます。



ベコ谷地を抜けると重たい雪の鎧をまとったモンスターのようシラビソの樹林帯に突入していきます。樹林帯は隙間が広く、滑走するにはちょうど良い感じです。樹林帯の先に頂上があるように見えたが、もっと先のようにです。



森林限界を超え、1,359mの山頂に向かうが、樹林帯を抜けるとさすがに風が強くなってきます。山頂からは360度の展望が楽しめました。国見台、焼山、昨日登った八幡平、遠くは鳥海山までよく見えます。



山頂からの眺めです。

天気が良くて気温が上がっており、ブーツでもほとんど沈み込まないのはいいのですが、風が強
いので早々にシールを外して滑走に移ります。

緩やかなところはトレースに乗ってボブスレーみたいな感じで勢いを付け、スピードが出たところ
でパウダースノーに突っ込むということを繰り返して下っていきます。樹林帯には程よい間隔が
あって楽しい滑りができました。



再度ベコ谷地に降りた時には登りよりやや緩んだ感じがします。2本のトレースを使って、ベコ谷
地の中央部でぜいたくな休憩を入れました。

この後は一昨日とほぼ同じルートを下って行きました。

後生掛温泉の駐車場に戻り、再度温泉に入りました。日帰りでは500円ですが、宿泊していたの
で250円で入ることができました。温泉を出て交代で運転をしながら千葉に戻りました。

